

## 6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&amp;コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (東海)	◎	商店街（代表者）	・物価はまだ上がるであろうが、来客数が減ることはない。
	◎	一般小売店〔土産〕（経営者）	・補正予算も無事に成立し、今後が期待できる。
	◎	乗用車販売店（経営者）	・年明けから初売りが始まるため、年度末商戦も近づき期待する。
	◎	タクシー運転手	・現内閣の政策により景気が良くなる。
	○	商店街（代表者）	・家電製品の値上げが続いているが、我々が懸念するほどの買い控えはないようみえる。今後は少しずつ良くなっていくとみている。
	○	スーパー（店員）	・足元での売上の順調な推移をみると、ガソリン価格下落の影響が大きく出ていると予測する。大雪など天候の問題さえなければ、野菜も順調に売れるとみられる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・現政権での政策が徐々に功を奏してくるとみられる。
	○	コンビニ（店長）	・値上げ続きの1年から落ち着いてきた。ガソリン価格も下降しており、心理的にも安定に向かっている。米の価格も今後少し安くなると見込まれる。飲食業界や製造業界は良い方向に向かっている。
	○	衣料品専門店（店長）	・人手不足のため外国人技能実習生の新規採用が増え続けている。それに伴い作業服や備品の購入が増加している。人手不足は続いている、今後もこの傾向は続くとみられる。
	○	衣料品専門店（売場担当）	・政府による物価対策に期待を持てる。
	○	衣料品専門店（売場担当）	・これからが1番の繁忙期になる。冬物スーツや新入社員向け商材のほか、まだ販売店が少ないリカバリーウェアも贈答用に売れている。これからも期待ができる。
	○	家電量販店（営業担当）	・ガソリンも安くなり、3か月後は年度末や新生活の需要も期待できる。
	○	乗用車販売店（営業担当）	・年明けから繁忙期に入り上向きになっていく。来店客との会話からも景気が悪いという話は特に出てきていない。ただし、新車の価格が上がり続けており、更に先になると不透明感がある。
	○	その他専門店〔貴金属〕（経営者）	・金相場と為替相場の上振れが、良い効果ばかりでなく悪い効果を生みださないか懸念される。
	○	旅行代理店（営業担当）	・団体旅行の取扱では、年度末に向けて社員旅行など会社行事の駆け込み需要が見込める。
	○	美顔美容室（経営者）	・1月から新たな販売キャンペーンが始まる。
	○	住宅販売会社（従業員）	・ガソリン価格が下がり物流価格も下がる。住宅ローンの控除も継続となり良い方向に進みそうである。金利も上昇傾向で、今のうちに固定金利で住宅購入をと潜在顧客が動き出す期待ができる。問題は、中古住宅のローン控除が拡充し、新築住宅の購入にはマイナスになることかもしれない。
	○	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・繁忙期に入るため期待する。
	□	商店街（代表者）	・中国からのインバウンドが減っても商店街への来客数は依然として多く、数か月前から変化はない。
	□	商店街（代表者）	・物価が上がり続ける一方で改善の見込みがない。日中関係が落ち着けば上向くが、干支にちなんだ格言から株価が下がっていくという話もある。
	□	一般小売店〔結納品〕（経営者）	・良くなる原因も悪くなる原因も見当たらない。4月くらいになれば多少は良くなるとみる。
	□	一般小売店〔生花〕（経営者）	・物価高が収まらない限り難しい。
	□	一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
	□	一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	・物価高騰は相変わらずで先の見通しが立たない。
	□	一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・国内外の情勢は変わらず、先が読めない状況が続く。

<input type="checkbox"/>	百貨店（総務担当）	・免税売上は引き続き前年を割る水準になると考えるが、一方で若年層を中心とした消費意欲の回復は続くとみられる。また、株価高の資産効果による買上も、富裕層を中心とした外商顧客に見受けられ、今後の企業業績等には留意が必要であるが、底堅く推移すると想定している。
<input type="checkbox"/>	百貨店（経理担当）	・今の物価対策は、中間所得層における生活必需品購入の補助や支援にとどまっている。し好品やぜいたく品の購入を促すほどの効果は期待できないため、弱含みの個人消費が続き景気は低位のまま変わらず推移する。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・現状維持で大きな変化はなく、堅調な推移になると見込まれる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・元々インバウンドの影響を受けづらい地域のため、富裕層の消費心理が変化しなければ、変わらない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売担当）	・足元の動きがどこまで続くかは分からず、しばらくは大きな変化のない状況が続くとみている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	・地域来訪者の増加に期待する。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・販売促進を強化しても来客数が増えない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（支店長）	・相変わらずの物価上昇と金利の上昇で消費動向は芳しくないとみている。外交問題もあり混とんとした雰囲気を感じる。諸問題の改善を願うばかりである。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	・商品の値上げはまだ続きそうであるが、客はかなり慣れてきた様子であり、売手の創意工夫が業績を左右する状況は変わらない。寒さも余り厳しくないため防寒商品が起爆剤にはならなさそうで、非食品部門の動向は鈍いとみる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・ガソリン価格の下落は実感できる。政府の経済対策に効果が現れるのは来年からで、しばらく景況感は変わらないとみられるが今後に期待している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・物価高の影響が各商品カテゴリーの販売動向に徐々に現れ出しているため、急激な回復にはならないと想定される。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・商品戦略等が的中しており、店舗で品切れなどに注意すれば継続できる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・競合店の閉店など周辺環境の変化がない限り、来客数減少という現状が一変することは困難である。基本業務を徹底し現在の常連客から支持を受け続けるのが、むしろ有効な戦略といえる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（本部管理担当）	・現政権の発足に伴い各方面で肯定的な報道が散見されるものの、小売業においては今のところ特筆すべき好影響を享受していない。今後は、消費者の購買意欲を直接的に刺激して来客数の増加を見込むという具体的な成果が見込める実効性の高い経済政策を期待する。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（販売企画担当）	・寒さが増して防寒用品が動き始めている。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・気前のいい買物が余りなく、勢いがない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・物価高が続いているが、ガソリン暫定税率廃止や基礎控除の引上げ等で緩和される感じがする。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・消費者の間ではインフレ懸念があり、耐久消費財の購入に慎重になっている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・物価対策の影響が現実に出てこないと、今の状況は変わらない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・年末年始を迎へ、それなりに人が動いて金を使うとみているが、例年と比べると控えめになる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・これから税負担が軽減して少しはあるが手元の金が増えるようになる。気持ちの問題ではあるが、気分良く消費に金が回り景気が良くなっていくことを期待する。自動車に関しても、期間限定であるが税負担が一部緩和されるようだが、実施を待つて登録控えが発生しそうなので、どのような対策が打たれるかが気になる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・客は車が欲しくても販売停止の車種が多く、売りたくても売れない。今後は販売台数ではなく利益率が重要になってくる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・ガソリンは安くなってきたとはいえ、自動車を使っての遠出を控えるという客も多い。冬場に売れるスタッドレスタイヤも注文が少なく、良くなるといえる状況ではない。

□	住関連専門店（営業担当）	・工賃や材料費などの値上げにより建築業界全体で成約できない物件が出始めており、新築需要は横ばいである。ただし、中小規模のリフォーム工事では、特に企業関係の設備投資、オフィス等の業務環境の向上等といった需要は見込める。
□	その他専門店〔書籍〕（社員）	・輸入商品は為替の影響が大きいが、年度末まで一定の販売量が続くと考える。
□	高級レストラン（経営企画）	・年末年始の需要が終わり、再び節約モードに入るが、期末に向けて卒業、入学や入社、異動など年度の変わり目での需要は期待される。
□	一般レストラン（スタッフ）	・この先も原材料価格が下がるとは想定しづらい。
□	一般レストラン（従業員）	・正月明けで暇になる。
□	バー（経営者）	・物価高など先行きが不透明である。
□	観光型ホテル（支配人）	・宿泊部門は好調であるが、日中関係の影響により2月の中国春節期間での予約が弱い。
□	都市型ホテル（従業員）	・予約数から変わらないと判断する。
□	都市型ホテル（経営者）	・中国からのインバウンド減少による影響は一部感じるものの代替需要もあり、現在のところ大きな変化には至らないと感じる。
□	都市型ホテル（営業担当）	・不透明な状況であり分からない。
□	旅行代理店（経営者）	・予約状況から推測すると、余り変わらない。
□	旅行代理店（経営者）	・年明けから動きが出ると予想するが、確約はできないため変わないと判断する。
□	タクシー運転手	・年末は忘年会等で繁華街や盛り場でも客は多く動いているが、年明けになると少なくなる。ただし、年末前の客足に戻っていくことから、変化はないと見込まれる。
□	通信会社（企画担当）	・現政権の経済対策の効果が出てくると期待しているが、現段階では効果が感じられず、効果が現れるには時間が掛かるように感じる。
□	通信会社（サービス担当）	・今までずっと平行線であるが、新規申込みが増える分、解約も増えている。
□	テーマパーク（職員）	・積雪の状況による。
□	パチンコ店（経営者）	・年末年始を過ぎると来客数も落ち着きを取り戻す。近隣の大型商業施設による影響が懸念される。
□	パチンコ店（従業員）	・良くなる要因は特に見受けられない。
□	美容室（経営者）	・物価を話題にする客が多い。少しの買物でも金額が高くなり気を使っているという声があり、景気が上向くようにはみえない。
□	美容室（経営者）	・物価高の影響が続く。
□	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・2～3か月後は季節要因による変動が大きいが、景気としては変わらない。
□	住宅販売会社（従業員）	・大きな変化はみられず、当分この状況が続く。
□	その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・物件を多く持っている元請と全く持っていない元請の2極化となっている。全体的に物件を持っていない元請が多い。
▲	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・飲食店への客足が改善する材料がない。飲食店から閉店の相談が出ていている。
▲	百貨店（売場主任）	・クリスマスが終わるとセールの準備に入るが、セール商品の在庫が余りない。セール期間は2週間程度と短いためセール目当ての客には厳しく、定価販売で売れるわけでもないため、厳しい状況が続く見込みである。
▲	百貨店（企画担当）	・前月は防寒洋品や冬物衣料品が動いたが、今月に入って特に中間層向けの衣料品の動きが鈍っている。全体的に所得は伸びているが、生活用品の値上げ分には届かないことが中間層の購買意欲を押し下げているとみる。この流れが継続することを懸念する。
▲	百貨店（販売促進担当）	・現政権による経済対策の効果が現れるのはもう少し先である。目前においては、インバウンド減少の影響が多少あると見込まれる。

▲	百貨店（販売担当）	・文具雑貨類のブームがけん引して売上を伸ばしているが、季節商材の衣料品が不振である。寒くなるのが遅く12月商戦に間に合わなかつた印象である。
▲	スーパー（店長）	・ブラックフライデー以降から今後も大きな買い控えが考えられる。
▲	スーパー（店長）	・値上げが続く状況により買上点数が伸びず、売上は前年を超えない。
▲	スーパー（店員）	・年明けは買い控えする傾向があり、来年も同様の見込みである。
▲	スーパー（店員）	・担当カテゴリーでは値上げが続くなから価格据置きを続けてきた商材もあり、客離れが懸念される。
▲	スーパー（販売担当）	・価格の低い商品は動きがよいが、高額でも良い品を求める客が少ない。来客数は変わらないが、買上点数は減っているため今後良くなるとは考えられない。
▲	コンビニ（企画担当）	・来客数の前年割れは3か月ほど続いており、今後もこの傾向が続くことが予想される。売上もいずれ減少に転ずる可能性が高い。
▲	コンビニ（店長）	・物価高の影響が強く節約志向が当分続く。
▲	コンビニ（商品企画担当）	・春節を迎えるに当たり、中国からのインバウンド需要の冷え込みに拍車が掛かることが想定される。
▲	家電量販店（フランチャイズ経営者）	・パソコンは値上げによる買い控え、年賀状じまいや高齢化等で販売数が減っている。冷蔵庫も値上げで買換サイクルが長くなっている。照明器具は蛍光管の2027年問題で売れているが、単価が安いため販売額としては影響が少ない。エアコンも2027年に大幅値上げが見込まれているが、まだ認知不足で売上に影響は出ていない。今後も買い控えで販売減少が続くと予想される。
▲	乗用車販売店（従業員）	・楽観できる要素がなく、やや悪くなると判断する。
▲	乗用車販売店（販売担当）	・12月で販売施策は終了するため年明けからは不安定になる。
▲	一般レストラン（経営者）	・自店の都合で年明けからも営業日数が限られる。
▲	一般レストラン（経営者）	・物価高や人件費、社会保険料の負担増加が見込まれる。
▲	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・年末年始に散財した余波で買い控えが起きる可能性がある。
▲	その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・直近の円安基調を受けて、来年1～3月に値上げを実施する取引先が増えてきた。これまで、販売価格の改定で対応してきた販売先でも、より安価な商材へ変更するところが散見される。
▲	観光型ホテル（経営者）	・2～4か月先の宿泊や会食の予約状況を毎週定点観測している。年明けは、それほど良くないが何とか横ばいである。景気対策や地域の話題性等がなければ前年並みの達成は難しい。景気浮揚には何らかの経済対策や地域の話題づくりという外部的要因が不可欠である。
▲	都市型ホテル（総支配人）	・旧正月のインバウンドは前年と比べ弱い。春に向けて予約の積上げはこれからであるため動向を注視したい。
▲	旅行代理店（経営者）	・中国からのインバウンドで団体客を扱うホテルからは、11月頃から客室が余っているという話があり、適正価格になれば国内客の利用が見込まれる。ただし、中国から日本を避けて近隣のアジア諸国に行き先を変更しているため、海外旅行は更に高騰することが懸念される。
▲	旅行代理店（経営者）	・食材費や人件費の高騰によって、大型ビル内でもテナントが決まっていない区画が出ている。ターミナル駅前の大型再開発が開始直前で休止となり、ますます不透明感が強まっている。市街地から離れた地区では飲食店の閉店が目立ってきており、郊外では大型商業施設の開業とともに優劣が進んでいる。
▲	テーマパーク（職員）	・来年の春節は、かなり客が減る見込みである。
▲	テーマパーク職員（総務担当）	・今後しばらくは大規模な催事がなく寒さも厳しくなるため、集客に関しては苦戦が予想される。収入が期待できず、経費節減に更に努めなければならない。
▲	観光名所（案内係）	・先の動きは見当が付かない。

	▲ ゴルフ場（経営者）	・労務費の上昇や物価高騰に伴い売上原価は上昇しているが、価格転嫁が難しく、利益は減少傾向にある。
	▲ 理美容室（経営者）	・客との話で、物価上昇に比べて賃金は上がらないことから、段々と厳しくなってくると懸念される。
	▲ 設計事務所（職員）	・今の経済政策では物価高への対応が精一杯で、景気が更に良くなるような根本的な解決にはならない。
	▲ その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・仕入価格はもう下がる見込みがなく、販売価格にそのまま転嫁することもできず、苦戦を強いられている。
	▲ その他住宅〔展示場〕（従業員）	・支出の増加が予想される。
	× スーパー（店員）	・競合店がオープンするため確実に来客数は減る見込みである。
	× 美容室（経営者）	・1月の終わりから3月初めまでは寒くなる。また、12月に来店した客が多いことから1年で1番暇な時期になる。
	× 設計事務所（経営者）	・良くなる材料は一切ない。
	× 住宅販売会社（経営者）	・経済の先行きが不安で、不動産業では不況になるおそれがある。
	× 住宅販売会社（従業員）	・部材が更に値上げするとの通達が回ってきた。申請手続も長期化し、コスト高を企業努力でカバーできなくなっている。
企業動向関連 (東海)	◎ —	—
	○ 食料品製造業（社員）	・景気対策の短期的な効果と期待感で、少し消費が上向くと見込まれる。
	○ 電気機械器具製造業（企画担当）	・景気浮揚のための補正予算も組まれたので良い方向に向かっている。本格的な改善は来年以降の政策によるため、しばらくは焦らずに状況を見極める必要がある。
	○ 輸送業（エリア担当）	・販売見込みが好調である。
	○ 金融業（従業員）	・内閣が代わってからガソリン暫定税率廃止など具体的な政策がみられ、企業活動や消費の好転など例年よりも実際に金の動きも活発化しており、上向きとなっている。
	○ 公認会計士	・今後はガソリン暫定税率廃止や年収の壁の引上げなど経済施策の効果が出てきて個人消費にはプラスに働くと考えられる。日中関係問題も、一部の業種を除き大きな影響はなく今後も緩やかに景気は改善傾向になると予想される。金利の上昇により企業の設備投資にはやや不安があるものの、ここ数年、低金利でも設備投資は活発ではなかったことから、こちらも大きなマイナス要因にはならないと考える。
	○ 会計事務所（職員）	・食品や日用品の値上げはあるが、少しずつ高い値段にも慣れてきて、いつもどおりに買物する状態に戻ってきている。
	□ 化学工業（総務秘書）	・景気を下向きにする特段のトピックがない。懸念は、AI投資にバブル感があること、米国のITサービスにかなり依存していること、富の偏りがあることである。日本発の技術革新が生まれなければ、いつかは大きな不況になると懸念されるが、まだすぐには始まらない。
	□ 一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量と販売量の見込みによる。
	□ 電気機械器具製造業（営業担当）	・3月以降の動きは分からない。
	□ 輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・客先の生産計画上では来月も変わらない予定である。
	□ 輸送用機械器具製造業（管理担当）	・ガソリン暫定税率は廃止になったが、来年も様々な値上げが続く予想があり、結果的に根本的な解決になっていない。
	□ 建設業（役員）	・物価上昇が収まる気配がない。周りを見ても、年末年始の食事会は年々減少している模様である。そこまで金が回らない。
	□ 建設業（営業担当）	・準公共事業を受託する場合、予算が決まっているため大きな変動はない。来期の見積りを提出しているが、以後に材料費や人件費等が上がっている。上昇分を反映した予算の変更が可能かは、自分たちでは何もできないため見通しが難しい。
	□ 輸送業（経営者）	・大半の消費者層において物価上昇に所得が追いつかず、物価上昇がいつまで続くか見通せない状況では、消費を控える行動が続くとみられる。一部の高所得者層による消費増加だけでは、物流業者の荷量に好影響は与えない。

	輸送業（従業員）	・今年の平均ボーナス支給額をみると、多くの企業では実質賃金の上昇が見受けられない。
□	輸送業（従業員）	・来年のこととは全く分からぬという荷主が多い。いまだ値上げできていない同業他社も多いようで、運送業全体の景況感は、忙しい割にもうかっていないというところである。
□	輸送業（エリア担当）	・遠方向けの輸送単価は上がったが、その代わりに帰りの高速代がなくなり、収入的に悪くなっている。
□	通信業（法人営業担当）	・A Iが客業務に浸透し始めている。A Iが人間の穴を埋めている。A Iは、人間を補完することはできても人間の代わりにならないので、低迷した景気を持ち上げる役割は、やはり人間にある。今の変化する状況にあって、一足飛びに景気回復とまではいかない。
□	通信業（総務担当）	・政府の物価対策として、自治体による商品券配布の支援やガソリン暫定税率廃止等が実現し、対策は目に見えているが、消費者が欲しい物や必要な食品の値上げが冷や水になっている。
□	金融業（従業員）	・経済の状況は今と変わる要素がなく、当面は変わらないように見える。
□	金融業（企画担当）	・賃上げ報道が続いているが、賃上げができるのは大手企業ばかりである。中小企業にとっては、受注価格と販売価格が上がってこないといえども、安定せず、賃上げには踏み切りづらい。当面は現状の景気が続くとみられる。
□	不動産業（経営者）	・今後は前年と同様に晴れの日が多くなりそうであり、外出や遠出をする人は増加傾向と見込まれる。今後の売上は、増加傾向を継続し前年を上回る状況が続くと予測する。
□	広告代理店（制作担当）	・物価高と人手不足が続き、特に新しい要因は見当たらない。広告の受注も現状維持が続く見込みである。
□	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・金利が上昇し、住宅や不動産の価格が高騰し動きも低調になる。
▲	食料品製造業（経営企画担当）	・魅力ある商品しか生き残れない厳しい競争の時代が加速する。
▲	食料品製造業（営業担当）	・受注、販売量共に減少している。
▲	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・足元では季節要因で受注量、販売量共に良いが、この先は年末年始商戦も終了するため、景気はやや悪くなる。
▲	窯業・土石製品製造業（社員）	・しばらく客先が生産を控えていた反動で一時的に注文が増えているため、3か月後には元に戻りそうである。
▲	金属製品製造業（従業員）	・来年度の仕事量を不安視する見方が大勢である上、ターミナル駅周辺の再開発計画が白紙になり、マインド的にも下がっている。
▲	一般機械器具製造業（営業担当）	・今の急激なA I関連設備投資の増加は一時的であり、長期間続くとは考えられない。
▲	電気機械器具製造業（経営者）	・客先業界の景気が良くなく、競業他社との価格競争もあるため先行きは厳しくなる。
▲	電気機械器具製造業（経営者）	・現状は受注残の消化で稼働しているが、工作機械や自動車関係は、今後減産あるいは販売不振による需要の減少が考えられる。
▲	輸送業（従業員）	・12月で貨物量出荷のピークを過ぎることと、荷主へ運賃一斉値上げを依頼することから、貨物量は伸び悩むことが予想される。
▲	新聞販売店〔広告〕（店主）	・特需や駆け込み需要の要素がない。暖房代や光熱費を節約しても例年並みの利益水準には戻らないほど厳しい。
▲	会計事務所（職員）	・米国市場向けの輸送機器の受注量が本格的に減少している。顧客から以前聞いた新規品立ち上げの計画も、業績の低迷を理由に延期されている状態である。今後しばらくは厳しい状況が続きそうである。
×	鉄鋼業（経営者）	・先の見通しが立たない。
×	金属製品製造業（経営者）	・引き合いが減少しており、販売数量が更に減少するとみられる。
雇用 関連 (東海)	◎	*
	○	人材派遣業（営業担当）
	○	人材派遣会社（社員）
	○	職業安定所（職員）
		・ガソリン暫定税率廃止が様々な場面で効果を發揮し、企業収益や家計に良い効果が出始めると想定する。 ・やはり期末は人が動く時期のため、求人数は増える。 ・製造業を中心に、従前からの人手不足による求人に加え、増員の求人が出始めている。

○	民間職業紹介機関（窓口担当）	・例年、年度末に向けての派遣需要はこれから増える見込みであり、かつ、求職者も流動する時期のため人材の母数は増加となる。今後は派遣事業に加え今まで以上にBPO事業の拡大が重要となりそうである。
○	民間職業紹介機関（営業担当）	・転職マーケットにおいては、活動する求職者側と次年度までに体制を整えたい企業側の採用意欲の相乗効果で、採用決定数は上昇基調になる見込みである。
□	人材派遣会社（営業担当）	・将来的な工場新設やライン増設の予定は聞くものの、2~3か月先の話ではなく、もう少し先になると予想している。
□	人材派遣会社（営業担当）	・求人数は新年度に向かい増加傾向と予想するが、採用者数は大きな増加が見込めない。
□	人材派遣会社（営業担当）	・減税か社会保険料の負担を軽減しない限り、景気回復は難しい。
□	人材派遣会社（営業担当）	・自動車関連では、電動化関連は開発の踊り場ではあるが、欧州の規制緩和の影響もあって内燃機関連でも開発テーマが少し出てくる可能性がある。総じて開発量は今と変わらないとみられる。
□	アウトソーシング企業（エリア担当）	・現政権の積極財政、電気・ガス料金負担軽減支援事業やガソリン暫定税率廃止等による燃料費削減や年収の壁の見直しを踏まえ、景気上昇の期待感はみられるが、物価上昇は続いている収益への影響を不安視する声も見受けられる。
□	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・年収の壁の議論は進むものの、制度や市場への変化を与えるにはもう少し時間が掛かる。
□	職業安定所（職員）	・社会保険適用の拡大や最低賃金引上げに伴う社会保険料の負担は、労使共に影響を及ぼしている。
□	職業安定所（職員）	・金利上昇や日中関係など不透明な部分はあるが、企業の採用意欲は高く、人材採用やAI活用等で省力化が進み企業活動が活発になると予想している。
□	職業安定所（職員）	・中小企業においては長期にわたる原材料費、燃料費など諸経費の高騰が事業活動への大きな負担となる状況が継続し、産業によってはかなり厳しい状況となっている。一方、受注が堅調な産業もあり、人手不足感が深刻な業種も見受けられるが、最低賃金の引上げや物価高騰等による懸念により、新たな求人提出を控え、様子見をしている企業も引き続き少なくない。現時点で大きな生産調整や雇用調整などの話は入っておらず、当面は、景気動向の大きな変化は生じないと判断している。
□	職業安定所（職員）	・引き続き人手不足という声を聞く一方、中小零細企業を中心に、物価高や最低賃金引上げによる求人票の出し控えがみられる。
□	職業安定所（職員）	・日中関係の影響による雇用への変化は管内事業所ではまだ出でていない。
□	学校〔大学〕（就職担当）	・新卒求人については、2~3か月先でも現状と比較して大きな変化はない。
▲	人材派遣会社（社員）	・今月が良かった分やや悪くなる。人材派遣の予約状況も余り良くない。
▲	人材派遣会社（社員）	・年末年始から1月終盤にかけては、求職者、求人者共に例年動きが低調になる。
▲	職業安定所（職員）	・施設の老朽化や利用者数の減少などで介護施設や訪問看護事業者の撤退が相次いでいる。地域の経済力が縮小し始めている。
×	—	—